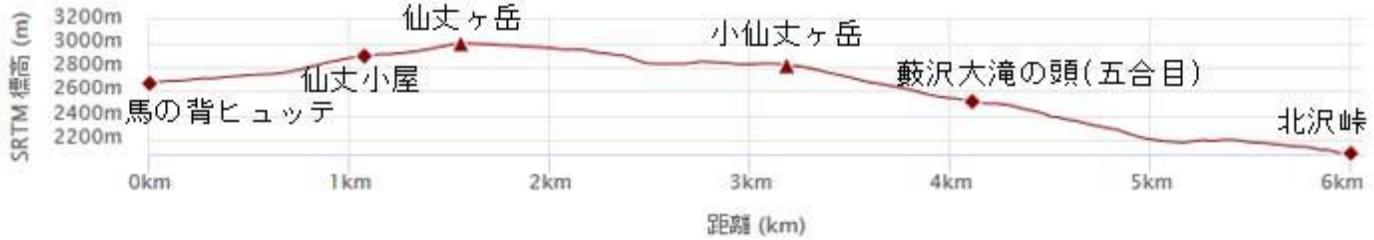


2017年7月22日（土） 仙丈ヶ岳（3,032.9m）②

～Report by 高橋(雄)～

仙丈ヶ岳二日目。本日のコースは馬の背ヒュッテから仙丈ヶ岳に登り、北沢峠に下る、約6kmの行程。



4:50

甲斐駒ヶ岳の右手からのご来光。



朝食。一般的なメニュー。

馬の背ヒュッテの朝食は、普通は5:30からだが、NHKの撮影隊かクラブツーリズムの団体の関係からか、この日は早く、第一陣が4:20ごろからで、我々は第二陣で4:50から食べることができた。



5:32

スタートの集合写真。

朝食を早めることができたので、スタートも予定より1時間早い。



馬の背に登る登山道には、植生をシカから護る保護柵が設置されている。



保護柵の中の高山植物



キバナシャクナゲ



コイワカガミ



アオノツガザクラ



ハクサンチドリ



甲斐駒ヶ岳

八ヶ岳

馬の背の稜線に出ると、北東方向に甲斐駒ヶ岳とその左遠方に八ヶ岳が見えてきた。

ナナカマドの群生もあった。



秋には紅葉がみごとだろう。



ご参考：Webで見つけた紅葉の仙丈ヶ岳→ http://mt-ari.at.webry.info/200909/article_5.html



06:07

尾根道の見晴らしのよいところで最初の休憩。



仙丈ヶ岳

行く手には、めざす仙丈ヶ岳が見え、



仙丈ヶ岳

仙丈小屋

北西方向には中央アルプスから御嶽山、乗鞍岳、北アルプスまでの大パノラマが広がっている。



御嶽山

乗鞍岳

中央アルプス

北アルプス



木曽駒ヶ岳

御嶽山



奥穂高岳

北穂高岳

槍ヶ岳

中央アルプス望遠

北アルプス望遠

高山植物がさらに目にとまる。



ハクサンシャクナゲ



ヨツバシオガマ



ミヤマキンバイ



ハイマツ

森林限界から上には高山植物の群落が目立ってきて、ところどころにお花畠を形成している。



キバナシャクナゲなどのお花畠の中を縫って登る。

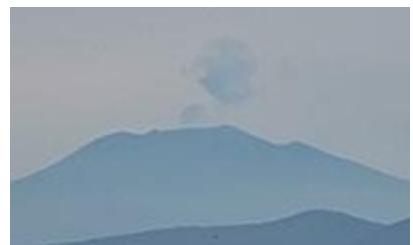


6:34

仙丈小屋。

北方向にパノラマが広がる。

遠くの浅間山↓は噴煙まで見えた。



さらに山頂をめざして進む。

高山植物の種類がグンと増え、我也我もと咲き競っている。



ミネズオウ



イワウメ



オヤマノエンドウ



ミヤマダイコンソウ



イワツメクサ



コケモモの実



ミヤマツメクサ



ハクサンイチゲ



チングルマ



イワベンケイ



タカネヒゴタイ



ミヤマシオガマ



チングルマ(手前)とアオノツガザクラの群生



ハクサンイチゲ(白)、ミヤマダイコンソウ(黄)の群生

7:15 仙丈ヶ岳 (3,032.9 m) 山頂



360 度の展望が楽しめるが、北～東方向(写真右手)のハケ岳、甲斐駒、鳳凰三山、富士山、北岳等は残念ながらちょうど湧いてきた雲の中。





7:26
下山開始。

下山路にもお花畠が。



ミヤママンネングサ（黄）とイワツメクサ（白）



ミヤマツメクサの群生



イワベンケイとミヤマキンバイ（奥の黄色）



ウメハタザオ

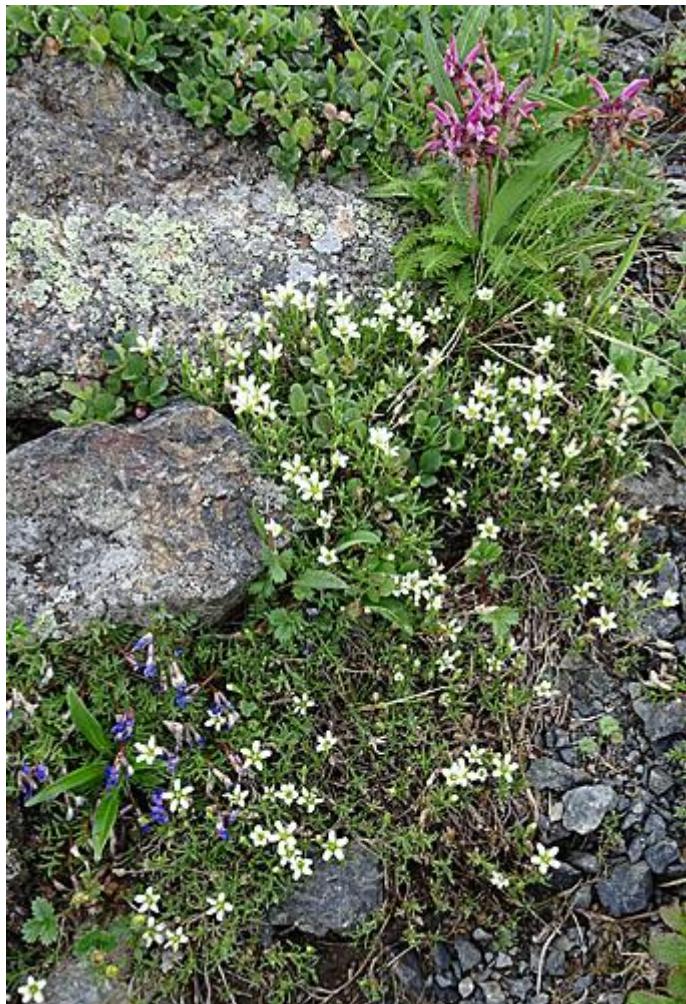
足下の高山植物だけではなく景色も楽しみながら降りる。



馬の背尾根、仙丈小屋



振り返ると仙丈ヶ岳



コケモモ



ヨツバシオガマ



ミヤマツメクサ



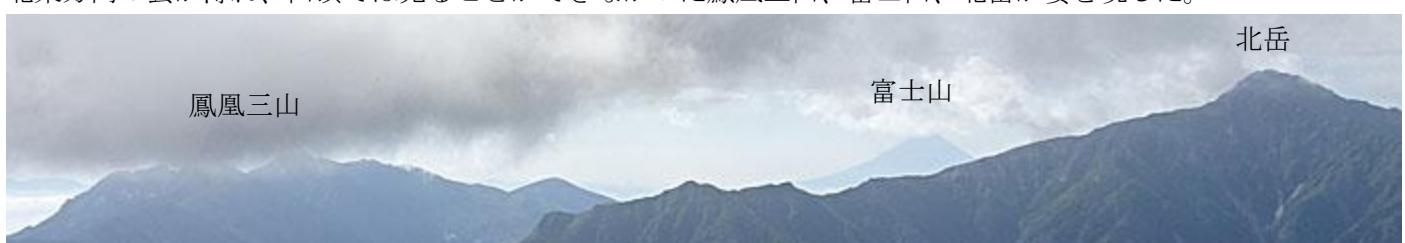
オヤマノエンドウ



8:00 八合目。



北東方向の雲が薄れ、山頂では見ることができなかった鳳凰三山、富士山、北岳が姿を現した。



また、北西方向の北アルプスの山々を望遠で捉えることができた。





ミヤマダイコンソウ



ツマトリソウ



ゴゼンタチバナ



ハクサンシャクナゲ



コイワカガミ



チングルマとコイワカガミ



小仙丈ヶ岳への登り



8:38

小仙丈ヶ岳(2855m)



昨夜泊まった「馬の背ヒュッテ」
が小さく見える

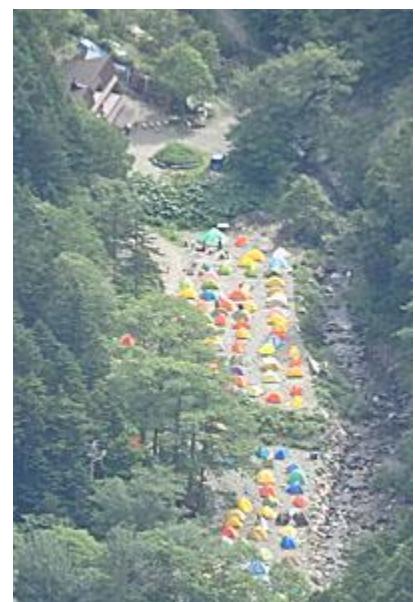
これまで鳳凰三山にかかっていた雲がとれ、はっきりと見ることができた。



ここから北沢峠へ標高差 825mを下る。



甲斐駒ヶ岳を望む。甲斐駒ヶ岳への仙水峠
経由のルートと、望遠でそのルート手前の
テント場を捉えることができた。





9:35

五合目の大滝の頭。
馬の背への分岐点もある。



9:55

四合目



10:58

北沢峠に無事下山。
予定の 12:20 より 1 時間 20 分も早い。
広河原行きのバスは時刻表では 13:30。
たっぷり時間があるのでここで昼食を摂る
つもりだったが、乗客が多いので臨時バス
が 11:00 に出るという。
あわてて飛び乗る。
トイレもおちおち行っていられない。

11:30 広河原着。次の甲府行きのバスは時刻表では 13:00。1 時間半後。

しかばここで昼食を・・・と思ったら、ジャンボタクシーが 8 人乗り合いで出せるという。
われわれ 6 人に別の登山客 2 人がすぐに加わり 8 人揃った。
とりあえずトイレはすませて、またも昼食をとらずに 11:40 に甲府に向けジャンボタクシーで出発。



13:00

ジャンボタクシーは甲府駅着。
我々 6 人は降りずにそのままそのジャンボタクシーで近くの喜久乃湯温泉まで送ってもらつた。
二日間の汗を流してさっぱり。

13:50

タクシーを呼び、甲府駅北口へ。



甲府駅で電車の時刻を確かめ、

南口の居酒屋、小作へ。

14:10 打ち上げの乾杯！



小作で2時間弱お腹を満たし、

16:01 甲府始発の特急「かいじ」で
すやすやと眠りこけて帰りました。

高山植物をたっぷりと楽しむことができ、文字通りの「南アルプスの女王、仙丈ヶ岳」を満喫した二日間でした。

この時期の広河原、北沢峠へのアクセスは、平日でも登山客が多く、定期バス時刻以外にも臨時バスや乗り合いジャンボタクシーが次々と出ていることを知りました。今回は実にタイミングよく乗り継ぎに恵まれました。

お疲れ様でした。